

導入効果事例 私立中学校様の概要

職員+生徒数 100名以上

利用製品

m-FILTER® Ver.5

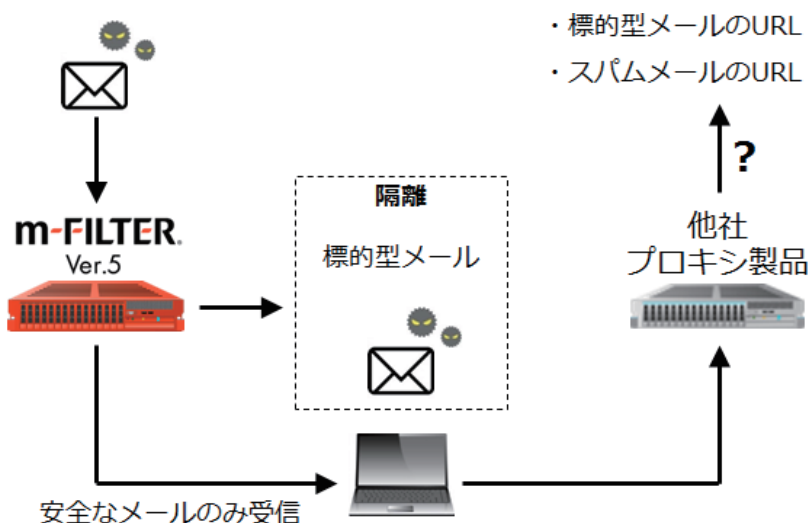
m-FILTERでの入口対策が完了、 i-FILTERでの出口対策を検討中

私立中学校様では「m-FILTER」Ver.5のリリース直後に標的型メール対策としてご導入いただきました。検討にあたりご評価いただいた点は、1つの製品で標的型メール対策と誤送信対策の両方ができ、他社製品で同じことを実現しようとする、複数製品の組合せでコストが高くなってしまいう点でした。

メール偽装された標的型メールは隔離されてユーザー端末には届きませんが、プロキシ製品が「i-FILTER」Ver.10ではなく他社製品を利用中のため、万が一隔離されたメール内のURLが他のユーザーからアクセスされると、マルウェア感染の可能性があります。また、メール偽装レベルの小さいスパムメールはそのままユーザー端末に届くため、スパムメール内のURLにアクセスされるとマルウェア感染の可能性があります。

そのため、来期に他社プロキシ製品から「i-FILTER」Ver.10への乗換を検討いただいておりますが、それまでの対策として、「m-FILTER」の偽装判定レベルが1以上のメールには注意喚起の文言追加とリンクの無効化を実施しております。

私立中学校様 導入効果事例



※偽装判定がレベル1以上の
場合、下記を実施
・注意喚起の文言を
メール本文に追記
・URLリンクを無効化
(http:// → ttp://)

■本書は、2018年8月現在の情報に基づいて作成しております。(※記載内容は予告無く変更される場合があります。) ■本書は、弊社「i-FILTER」、「m-FILTER」および関連製品の導入検討のためにのみご利用いただき、他の目的のためには使用しないようご注意ください。
■デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、m-FILTER、D-SPAはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。FinalCodeはデジタルアーツグループの登録商標です。■その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の商標または登録商標です。